

ジュゴン監視・警戒システムによる  
調査の実施状況について

平成29年9月

沖縄防衛局

# 航空機によるジュゴンの確認状況の推移

○ 個体A及び個体Bについては、従来の行動範囲からはずれた状態はみられなかった。  
 ○ 個体Cについては、平成27年7月以降確認されていない状況である。

区分	年	月	日	確認場所			
				大浦湾	辺野古沖	嘉陽沖	古宇利島沖
事後調査へり監視	2017 (H29)	6	6			●	
			13			●	●
			27			●	●
		7	5			●	●
			11			●	●
			18			●	
			25			●	
		8	1			●	
			18			●	
			28				●
		9	7				
			18			●	



※ 個体Cについては平成27年7月以降確認されていない。

## 【凡例】

- : 個体A
- : 個体B

## ○ジュゴンの生息・移動監視・警戒サブシステム(水中録音装置)による監視

- ・平成29年4月13日、嘉陽地先海域のうち、埋立工事施行区域内の2地点について、水中録音装置を設置。
- ・その他の18地点については、海底面への水中録音装置の設置に伴い、県知事の公共用財産使用許可が必須となることから、現在、沖縄県と協議を行っているところ。
- ・このため、当該公共用財産使用許可が得られるまでの間、長期にわたり水中録音装置による監視ができなくなることを回避し、ジュゴンに係る環境保全措置を着実に履行するため、沖縄島北部4海域ごと(下図参照)に船舶を1隻ずつ配置し、工事期間中、作業休止日を除く毎日(1隻で1日に3~5地点を調査することから、1地点当たり、1時間~1時間30分程度)船舶から水中録音装置を吊り下げる方法により監視を継続。
- ・8月28日(10時00分)、安田海域のA-5地点において、ジュゴンの鳴音と思われる音を確認。同日(9時53分)、古宇利海域において、ヘリコプターから個体Bが確認されていることから、個体B以外の鳴音であるものと想定。
- ・8月29日(14時00分)、安田海域のA-4地点及び8月30日(15時00分)、安田海域のA-1地点にてジュゴンの鳴音と思われる音を確認。

